

令和5年度 学校評価

「よりよい学校作りのために」アンケートの結果

12月に生徒・保護者・教員それぞれにアンケートを実施し、結果が次のようにまとまりましたのでお知らせいたします。

アンケート10項目について、生徒・保護者・教員とも同じ内容で、次の4段階で評価をしています。

よく思う ・ 思う ・ 思わない ・ よくわからない

各設問、回答者別に左側には「よく思う」・「思う」の結果を、右側には「思わない」の結果を割合(%)で表示しています。

【確かな学力の育成】として、①～③の3項目で質問しています。

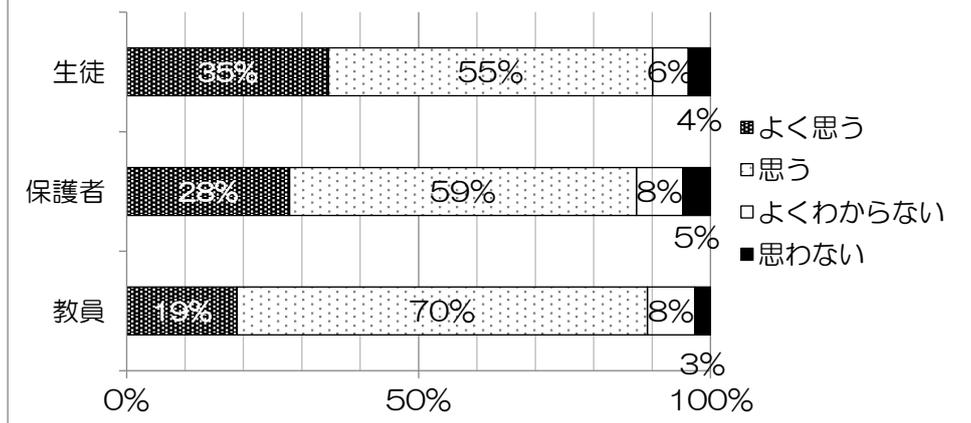
① 「授業力の向上」

『先生は、わかりやすい授業を工夫し、生徒のやる気を引き出していますか。』

生徒は日々の授業に落ち着いた姿勢で取り組んでおり、90%の生徒が「授業はわかりやすくやる気を引き出している」と答えています。

今後も、わかりやすい授業を工夫し、知識・技能の定着を図り、生徒のやる気を引き出すことにつながる授業、教材を研究し、さらなる改善に努めてまいります。

1. 先生は、わかりやすい授業を工夫し、生徒のやる気を引き出していますか。



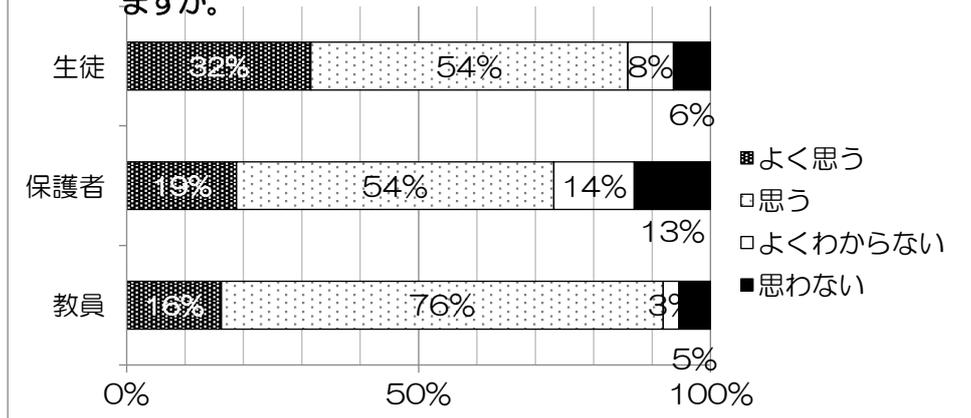
② 「表現力の育成」

『授業では、自分の考えを人に伝え、他の者はその意見をしっかり聞くことを大切にしています。その成果として、自分の考えを他の人へ伝える力が向上していると思いますか。』

生徒は86%、教員も92%が「自分の考えを伝える力が向上している」と答えています。

授業の中では、他の意見を聞き自分の考えをまとめること、その考えを「伝え合う」ことを大切にしながら生徒の表現力を育成し、生徒が成果を実感できるように互いに評価できる場を設定していきたいと思えます。

2. 授業では、自分の考えを人に伝え、他の者はその意見をしっかり聞くことを大切にしています。その成果として、自分の考えを他の人へ伝える力が向上していると思いますか。



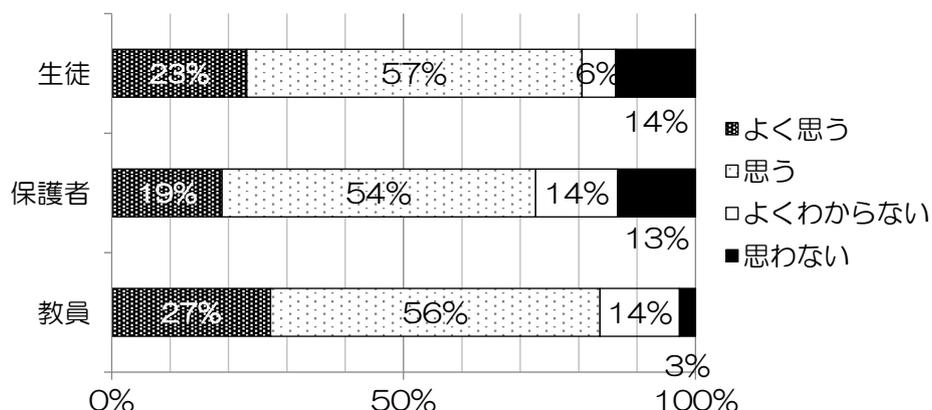
③ 「学習評価」

『学習評価を、日頃の学習を振り返り、次の目標を立てるために役立っていますか。』

生徒 80%、保護者 73%、
教員 83%が「学習評価を役立
てている」と答えています。

学校教育目標の『一人ひとり
が自ら学び』を具現化するに
は、日頃の学習を振り返り次の
目標設定をすることが大切に
なります。引き続き、生徒の学
習の成果を、指導の改善や生徒
が自らの学びを振り返り次の
学びに向かう意欲につながる
ように取り組みます。

3. 生徒は、学習評価を、日頃の学習を振り返り、次の目標を立てるために役立っていますか。



【生き生きとした活動の推進】として、④～⑥の3項目で質問しています。

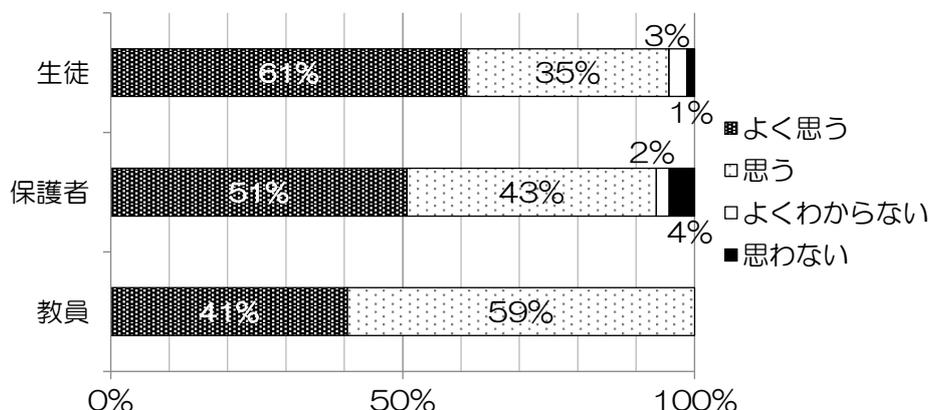
④ 「生徒主体の学校行事」

『体育祭、生創祭、合唱コンクールなどの学校行事に積極的に参加し、充実した活動になっていますか。』

生徒 96%、保護者 94%が
「学校行事は生徒主体の充実
した活動になっている」と答え
ており、その内訳として「よく
思う」が高くなっています。

今後も、学校行事や体験活動
などが、生徒が主体的に取り組
み、達成感を味わうことができ
る行事となるよう、活動内容を
工夫し充実することをめざし
ます。

4. 体育祭、生創祭、合唱コンクールなどの学校行事に積極的に参加し、充実した活動になっていますか。



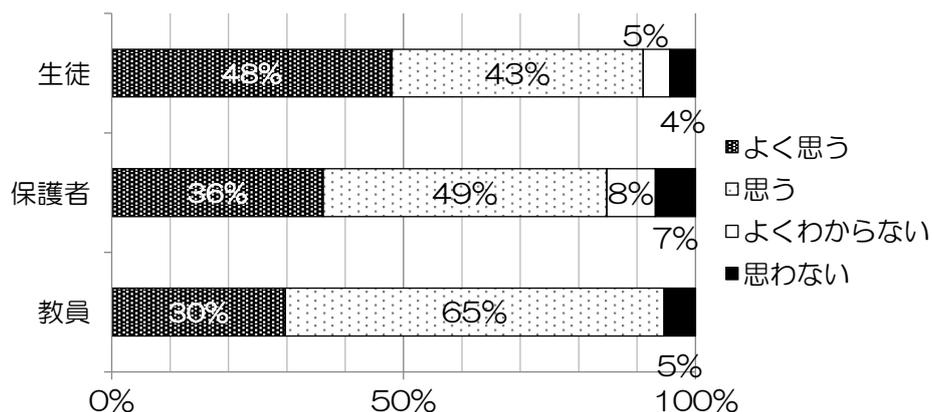
⑤ 「リーダーの育成」

『部活動や委員会活動、学校行事を通して一人ひとりの良さを伸ばし、生き生きとした活動が進められていると感じますか。』

生徒 91%、保護者 85%が
「生徒中心の活動が進められ
ている」と答えています。

今後も、部活動や委員会活
動、学校行事を通してたくさ
んのリーダーを育てる、一人一
人が活躍する場面をつくるなど
生徒の活動が生き生きとした
ものになり、自己肯定感を高め
る活動となるよう努めてまい
ります。

5. 部活動や委員会、学校行事を通して一人ひとりの良さを伸ばし、生き生きとした活動が進められていると感じますか。

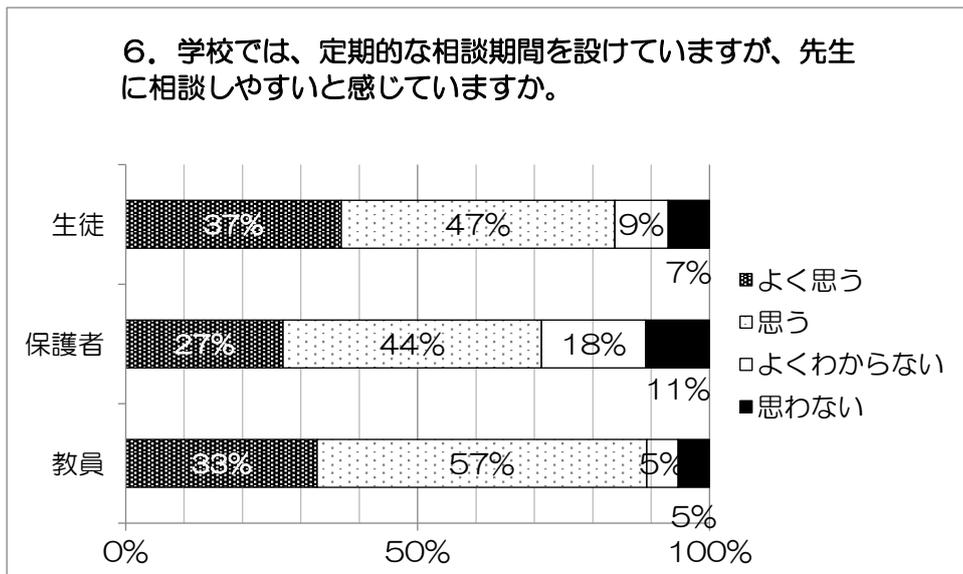


⑥ 「教育相談」

『学校では、定期的な相談期間を設けていますが、先生に相談しやすいと感じていますか。』

生徒 84%、保護者 71%が「先生は相談しやすい」と答えています。しかし、生徒 7%、保護者 11%が「思わない」と答えていることを課題として捉えます。

年間を通して、定期的な教育相談を行うとともに、日常的に生徒の話を聞く機会を増やし、話しやすい雰囲気づくりに努めたいと思います。



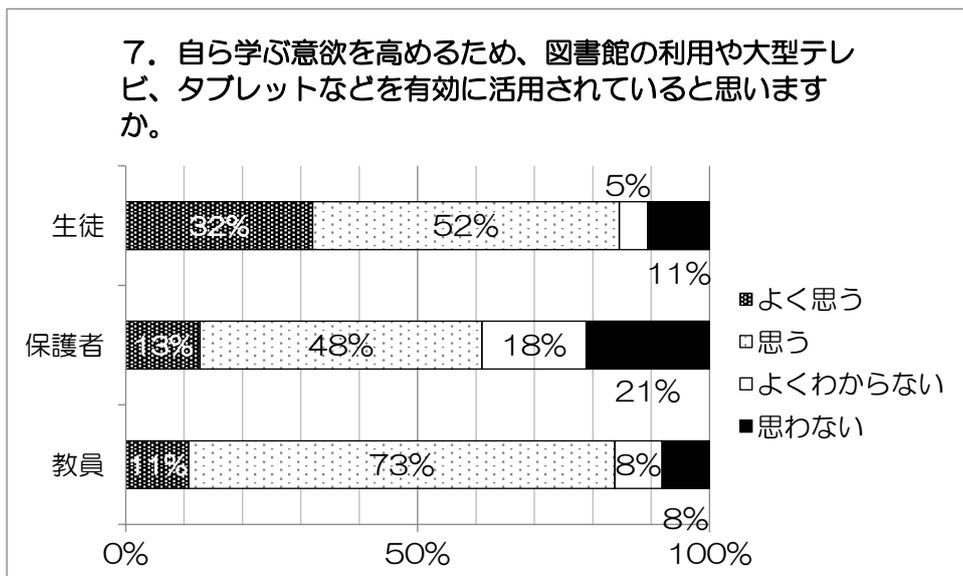
【学びの環境づくりと有効な活用】として、⑦～⑧の2項目で質問しています。

⑦ 「図書館、ICTの有効活用」

『自ら学ぶ意欲を高めるため、図書館の利用や大型テレビ、タブレットなどを有効に活用されていると思いますか。』

「図書館、ICTが有効に使われている」と答えている割合が生徒84%に対して、保護者61%と低くなっています。

生徒が自ら学ぶ意欲を高めるため、かわさきGIGAスクール構想を推進し、タブレット端末を有効活用した授業の実践に向けた研修を行います。また、読書活動の充実に向けた図書館の活用について取り組みを考えたいと思います。

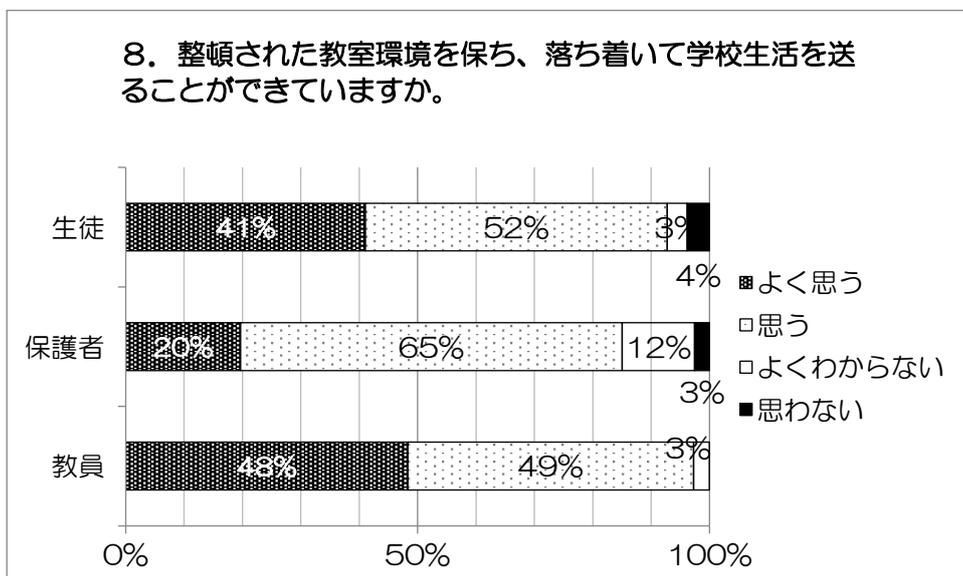


⑧ 「学びの環境」

『整頓された教室環境を保ち、落ち着いて学校生活を送ることができていますか。』

生徒 93%、保護者 85%が「落ち着いた環境で学校生活を送ることができている」と答えています。

校務員による整備、保護者の皆様の協力を得ながら、過ごしやすい環境をこれからも維持していきたいと思います。今後も、生徒には施設を大切に使用するよう伝え、落ち着いた環境で教育活動が行えるよう、学びの環境づくりに取り組みます。

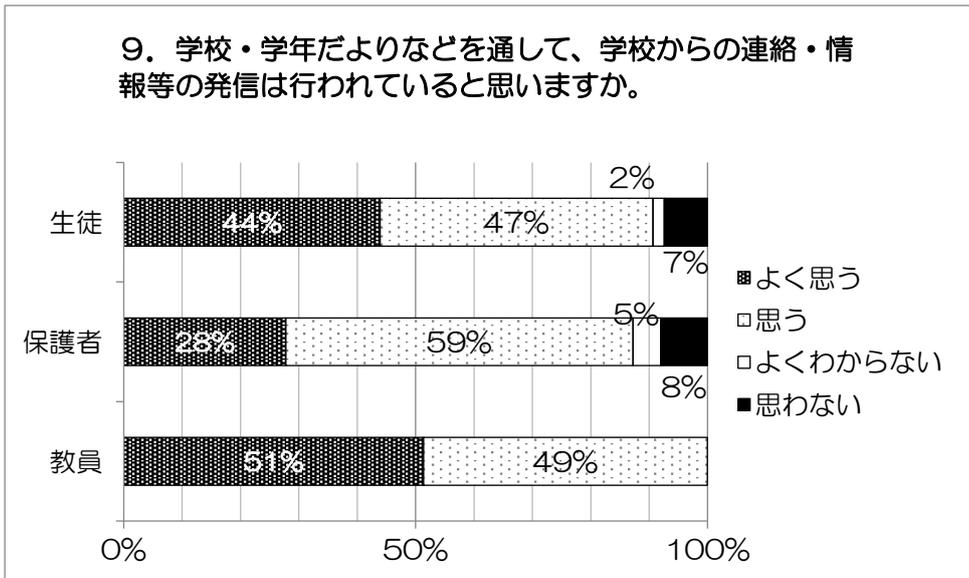


【地域ぐるみの教育の推進】として、⑨～⑩の2項目で質問しています。

⑨ 「家庭連絡」

『学校・学年だよりなどを通して、学校からの連絡・情報等の発信は行われていると思いますか。』

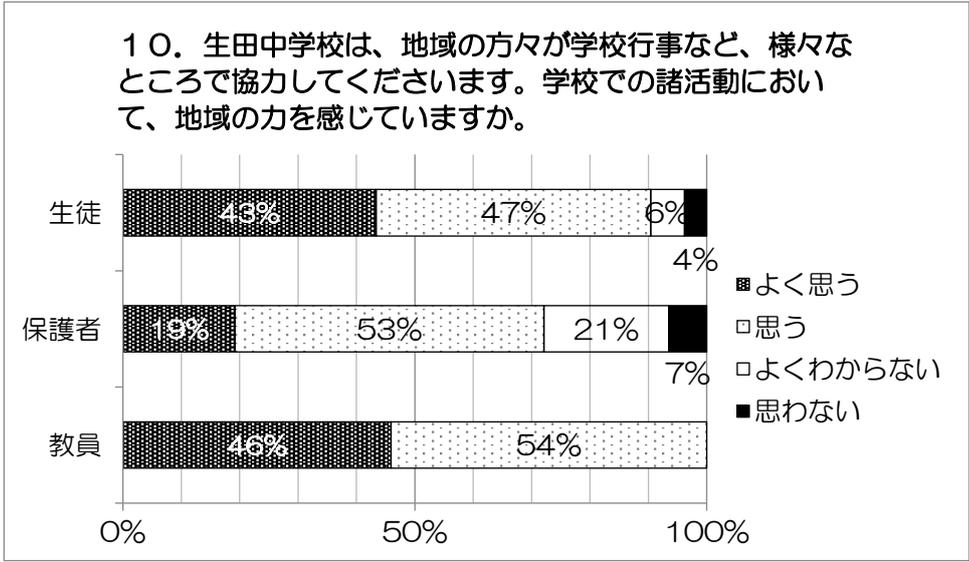
生徒 91%、保護者 87%が「情報発信は行われている」と答えています。
引き続き、学校・学年だより、HP等を通して保護者、地域の方々には学校行事や部活動等日頃の学校の教育活動の様子をお知らせし、ご理解・ご協力をいただけるよう、今後も情報発信に努めてまいります。



⑩ 「地域の力」

『生田中学校は、地域の方々が学校行事等に様々なところで協力して下さいます。学校での諸活動において、地域の力を感じますか。』

生徒 90%、保護者 72%が「地域の力を感じている」と答えています。
今年度は行動制限も緩和され、職場体験や地域行事など地域の方々とのふれあいを通して、生田の地域の力を感ずることができました。これからも郷土への愛着・誇りの気持ちを育て、地域に貢献できる生徒の育成をめざし、様々な機会を設定し、連携・協力を仰いでまいります。



まとめ

今年度は感染症における行動制限も緩和され、4年ぶりに様々な行事を、形式を見直しながら行うこととなりました。そのため行事の運営にあたっては、保護者の皆様、地域の皆様にはご不便やご迷惑をおかけしたこともあり申し訳ありませんでした。次年度以降、さらに充実した活動となるよう見直しを継続してまいります。

アンケートの結果は、概ね昨年度同様どの項目においても肯定的な回答を頂きました。特に⑩では、地域の方々とのふれあい行事を通して「地域の力」を感じることに繋がりました。項目②③及び⑦において、かわさきGIGAスクール構想の推進、授業改善に取り組んでまいりました。今年度は、読書週間を年に2回設け、GIGA端末の利活用に必要な力、読解力や想像力を育むきっかけづくりといたしました。GIGA端末の管理については引き続き支障が起きないように努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

項目④⑤において、生徒が主体的に生き生きと活動する場面を多くつくることができました。部活動は競技人口の減少、教職員の負担、専門性の確保など社会的な課題も多くありますが、生徒の興味・関心を高めることや、達成感を味わうこと、また協同して創りあげるよろこびを得ることなど、教育的に意義のある活動と捉えています。保護者の皆様にも、ご理解を得ながら生徒の活躍の場となるようにしていきたいと思っております。

これからも、学校・学年だより、HPなどの情報発信、学校行事、授業への参観などを通して学校の様子をお伝えしてまいります。また、情報配信システムの運用は、今後は「全員またはグループ」への配信を原則とし、有効な活用とするよう使用には十分に気をつけてまいります。

引き続き、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。